都市計画税提案見送り

■医療費分+後期高齢者医療分

	所得割	均等割	平等割	一人当り	1世帯当り
現行税率	7・30%	29,600	24,100	86,376	157,545
値上げ案	9・25%	36,900	32,600	107,413	195,914
±	+1・95%	+7,300	+8,500	+21,037	+38,369

■介護保険分

	所得割	均等割	平等割	一人当り	1世帯当り
現行税率	1・56%	8,600	4,800	22,695	29,265
値上げ案	1・67%	8,900	4,900	23,694	30,554
±	+0・11%	+300	+100	+999	+1,289

一世帯4万円(24%値上げ)もの負担増

3月議会では国民健康保険税の大幅値上げが提案されようとしています。値上げ案(上記表)では、一人当たり21,037円、一世帯当たり38,369円(いずれも現行税率比=年間額。医療分と後期高齢者分合計)にもなります。それでなくとも、「払いたくても払えない国保税」の大幅値上げは許されません。

そもそも国民健康保険は無職の年金生活者を始めとして失業者や零細業者など所得の低い層を対象にしています。それだけに法律でも社会保障制度として位置づけられています。この加入者に更なる国保税の負担強化は暮らしや命・健康を破壊しかねません。

国保会計への繰り入れ減額で一層の高い国保税に

これまで一般会計の事業として実施している福祉医療波及分(医療費の無料化制度の影響額)は国保会計に繰り入れを行っていました。ところが、「集中改革プラン」で繰り入れを減額。このため値上げ案は一層高くなりました。国保制度の持つ社会保障制度を否定するような値上げは撤回すべきです。

国保税の大幅値上げを提案へ

3月議会に提案予定の都市計画税導入議案の見送りを市長が表明しました。今回の都市計画税は導入に道理がなく市民の理解がないうまま強行しようとしたもので提案見送りは当然です。「集中改革プラン」で「必要な財源」として「取りやすいところから取る」という進め方に市民から強い批判が出ていました。

提案見送りに当たり市は今後、「野洲市のまちづくりビジョン」と計画を具体化する」として進めます。この間の進め方には「このような観点はありませんでした。財政再建」のためにはサービス削減と負担強化のみが先行しています。必要な事はこれまでの企業誘致や大企業に頼る行政運営から、農業を含む地元産業基盤の整備、振興など地に着いた行政推進や市民の暮らしに力点を置いた都市基盤整備が必要です。さらに税金の使い方を市民の暮らしを守る立場で見直しと検討をすべきです。

市民犠牲の財政運営から暮らしとまちづくりを基本に

議会基本条例の制定を検討へ

「開かれた議会、市民参加の議会、民主的な議会」へ全国的に議会基本条例を制定する自治体が増えてきています。野洲市議会でも平成22年度中をメドに制定へ市議会で協議機関を設置し検討していくことになりました。

大事な事は、議会運営のあり方や市民参加の議会を進めるうえで条例策定にいたるまでの議論に市民参加が必要です。19日の市議会・会派代表者会議で共産党市議団は、「条例検討過程において市民参加や懇談会開催など、多様な市民の意見を反映すべき」と主張しました。

3月定例議会日程 (予定)

- 3月1日(月) 本会議(議案提案)
- 10日(水) 11日(木) 12日(金)
本会議(議案質疑、代表・一般質問)
- 15日(月) 予算特別委員会(議案審議)
- 16日(火) 予算特別委員会(議案審議)
- 17日(水) 総務常任委員会(議案審議)
- 18日(木) 文教福祉委員会(議案審議)
- 19日(金) 環境経済建設委員会(議案審議)
- 23日(火) 委員会(議案審議) 予備日
- 25日(木) 本会議(議案採決)

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2010年2月21日 195

暮らしのご相談・要望
お寄せください

小菅六雄 (電話・FAX) 589-4971 (メール) shgdy177@ybb.ne.jp
野並享子 (電話・FAX) 587-0985 (メール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp
太田健一 (電話・FAX) 588-3169 (メール) kensan.wor1d21@docomo.ne.jp

市議団ホームページをご覧ください
<http://www.yasusigi.net/>